

大槌町赤浜第 2 仮設自治会との交流会

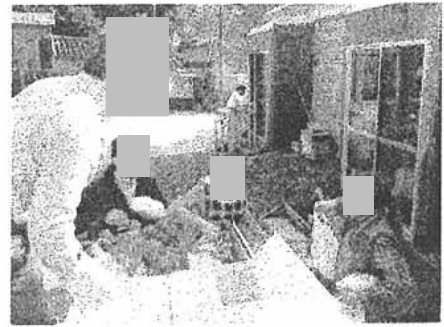
11 月 23 日 (日) 参加者 17 名

赤浜地区との交流も今年で 4 年目になります。

公民館だより裏面の、赤石発！震災応援会広報や、有線ページング放送による呼び掛けを通し、赤石地区の皆様から寄せられた新米や季節の野菜をお届けしました。今年は、会報を見て趣旨に賛同して下さった協同組合紫波町スタンプカード会から、トイレットペーパーと新米もち米の提供の申し出があり、こちら、第 2 仮設各戸へお届けいたしました。



赤浜の皆さんと一緒に荷物を下ろし、仕分けし、住宅前までトラックでお届けしました



交流会では、赤浜第 2 仮設初めての語り部のお話をお聞きしました。この震災を風化させることなく語り次いでいくことの想いが伝わってきました。

そして、赤浜と赤石のかけ橋となってくださっている、さんの「元気の出る食品の摂りかたのお話」～調味料編～をお聞きするなど、この機会を活用し両地区合同の学習会をしました。自治会長さんのお話です。「仮設住宅を出るのはまだ先になりそうです。これからも心の交流が続くことを願っています」

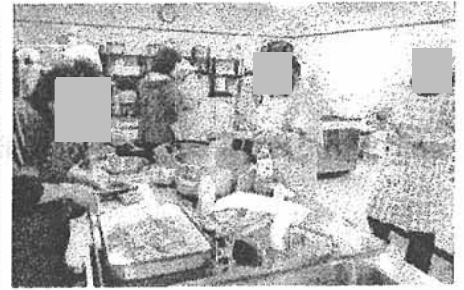
語り部のお話「あの日、私は…」



ご馳走づくりの後、お見送りの皆さん



早朝から活気あふれる厨房



山田町船越芝生公園仮設自治会との交流

12 月 2 日 (火) 参加者 9 名



朝から雪がちらつく日でしたが、山田の青い美しい海と、仮設談話室正面の壁面の、装飾された横断幕が私たちを迎えてくださいました。

海の幸と里の幸のご馳走交流会の後、山梨県から今年も応援に駆けつけてくださった さんが素敵なマフラーの編み方を教えていただきました。出来上がりが楽しみです。

赤石発！震災応援会は、これからも赤浜第 2 仮設、船越芝生広場仮設の両自治会のみなさんと話し合いながら、交流を続けていきたいと思っています。

参加してみようかな…と思った方は、お声をかけてください。おまちしております。

お問い合わせ先 赤石公民館

電話 019-676-3999・有線 6161 まで

